

民間委託7空港を中心とした「観光×MaaS」を展開するため、空港毎に連携体制を構築するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、感染予防と公共交通利用を両立し、「ヒト」「モノ」「サービス」と移動を一体的に動かす効率的なシステムの確立に向けた「生活×MaaS」の実証実験などにより、観光と生活の両面で、本道におけるMaaSを推進する。

観光×MaaS ⇒ 移動手段に加え、魅力的な目的地を提案するMaaS

令和2年度：空港運営事業者（HAP）をはじめ、交通事業者、経済・観光団体などの関係者間において、十勝における取組の成果や他地域での事例等を共有するなど、道がサポートしながら、関係者間による連携体制を構築。

※広域周遊促進事業における地域会議を想定（北海道観光振興機構、観光局との連携）

◆一括民間委託に係る今後のスケジュール

- 令和2年6月1日 **新千歳空港**運営事業開始
- 10月1日 **旭川空港**運営事業開始
- 令和3年3月1日 **稚内空港・釧路空港・函館空港・帯広空港・女満別空港**運営事業開始

※下線部分が、令和2年度の実施を想定



関係者間による連携体制の構築



道がサポート

- ・連携体制の構築に向けた関係者間との調整
- ・交通アクセスの現状整理

生活×MaaS ⇒ 幹線交通～広域交通～生活圏交通をシームレスにつなぎ、「新たな生活様式」に適應したMaaS

令和2年度：ダイヤ接続の見直しなど利便性向上に向けた取組を引き続き進めていくとともに、安全・安心して公共交通を利用してもらえる仕組みづくりや、非接触型サービスの拡大による感染リスクの低減と移動の質の向上、複数の目的と移動との魅力的な組み合わせの創出、公共交通の維持・確保に向けた新たなサービスモデルの検証などを目的とした実証実験を実施。

【実証実験イメージ】

